



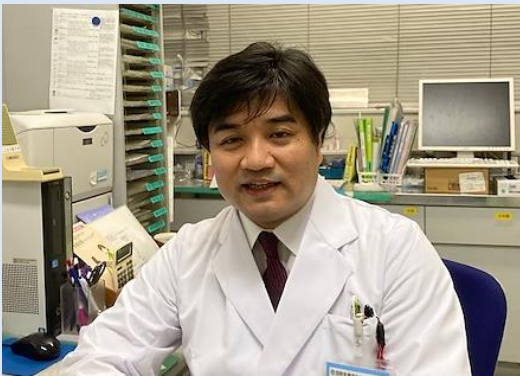
地域医療連携室だより

おおぞら



日頃より国際医療福祉大学塩谷病院へのご紹介、ご支援を賜り、誠にありがとうございます。
地域医療連携室だより「おおぞら」第13号となります。

着任のご挨拶 ～ 泌尿器科 教授 山口 剛 ～



初めまして。国際医療福祉大学塩谷病院泌尿器科に赴任いたしました山口剛と申します。まだまだ新型コロナの収束が見込まれない中、日々診察されている先生方や医療関係者の皆様、本当にお疲れ様でございます。私自身は高原山、那須岳をはじめとした風光明媚な風景や、この地域の方々の暖かな雰囲気や日々癒され、元気を頂いております。

簡単に自己紹介させていただきますと、私は神奈川の横須賀出身で、3歳から剣道を始めてからは、中学3年までは365日剣道漬けで、個人で関東大会優勝、団体で全国優勝するほど明け暮れた少年時代を過ごしましたので、体力には自信があります。名古屋市立大学を卒業後、地元に戻ってきてからは、腹腔鏡手術や最先端のda Vinciを用いたロボット支援下手術を中心に研鑽を積んでまいりました。研究においては、膀胱癌に対する血中循環癌細胞(CTC)(科研費採用研究)や多発性嚢胞腎、排尿障害を主なテーマとしてきました。今まで培った経験が少しでもお役にたつことができればと思っております。

今までは福崎教授お一人であったため、マンパワー的に制約がございましたが、この度の泌尿器科の増員で、よりアグレッシブに対処できるようになりました。泌尿器悪性腫瘍の他、前立腺肥大症、過活動膀胱、尿路結石、その他泌尿器科領域の疾患をお持ちの患者様がいらっしゃいましたら、ぜひ当科にご紹介していただければ幸いです。特に泌尿器悪性腫瘍につきましては、私自身、腹腔鏡技術認定医やロボット支援下手術のプロクター認定医資格(腎、膀胱、前立腺)を全て有しておりますので、それぞれの症例に適したテーラーメイドの低侵襲手術をご提案させていただくことが可能となりました。例えば、当院に受診していただいた患者様で、da Vinciを用いたロボット支援手術や腹腔鏡手術が必要となりました際には、国際医療福祉大学病院もしくは当院において原則として私が執刀させていただき、その後も引き続き患者様のお住まいに近い当院でフォローさせていただきます。



さらに最新のガイドラインに記載されている前立腺肥大症状に対する内視鏡手術(TUEB)、過活動膀胱に対するボツリヌス毒素注入療法、男性の夜間頻尿に対するデスマプレシンを用いた抗利尿ホルモン療法、多発性嚢胞腎などについても対応させていただくように準備しております。

塩谷郡市医師会の先生方や医療関係者の皆様方に支えていただきながら、この地域の医療に少しでも貢献できるように務めさせていただきます。

これから皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。